

はじめての

万葉集

[vol.79]

日本に現存する
最古の和歌集「万葉集」を
わかりやすくご紹介します



妹が家も 継ぎて見ましを 大和なる 大島の嶺に 家もあらましを

訳

お前の家も見つづけていたいのに。
大和の大島の山に家もあればよいものを。

天智天皇 卷二（九一番歌）

妹が家も

継ぎて見ましを

この一首は、天智天皇が鏡王女
に賜った歌だと記されています。

「妹」とは、妻や恋人など親しい

女性に対することばでした。対に
なるとは「兄」であり、いずれも現
代語の兄や妹とは異なります。

「大和なる大島の嶺」とは、明石
の海上から「大和島」と詠んだ例
（巻三・二五五番歌）があることな
どから、大阪湾側から大和国（奈
良県）を見た際の表現と考えられ
ています。そうだとすれば、天智天
皇の時代に都であった近江大津宮
ではなく、孝徳天皇の時代、難波
長柄豊碓宮で詠まれた歌であつた
とみられます。

当時はまだ「皇太子」だったと
『日本書紀』巻第二十五にありま
すが、孝徳天皇代に「大化の改新」
を実質的に推し進めたのは中大兄
皇子（後の天智天皇）と考えられ
ることから、歌の作者名も「天智天
皇」と記されたのかもしれませんが。
『万葉集』において、作歌時ではな
く後の役職名などが記された例は

他にもみられます。

この歌は、愛しい女性の家を見つづ
けていたいの自分のいる場所からは
それが叶わない、ということを表
現しています。一見すると離れた
場所にいる妻や恋人に贈る熱烈な
歌のようですが、天智天皇と鏡王
女との間に婚姻関係は確認できま
せん。よく似た発想の歌が『古事
記』顕宗天皇の話にもあり、天皇
が宮廷の奉仕を終えて退出する
女性へ向けて詠んだ挨拶歌である
ことから、この歌も同様の歌であつ
たと指摘されています。

鏡王女は鏡王の娘であり、後に
藤原鎌足の正室となった、なども
いわれますが、いずれも後世の文献
に拠るものです。『日本書紀』には、
天武天皇十二年に「鏡姫王」が没し
たこと、前日に天武天皇が病気を
見舞ったことだけが記されています。
（本文 万葉文化館 井上さやか）



万葉ちゃんの
つぶやき

和歌に関連
するものを
紹介するよ!

万葉ちゃん

飛鳥宮跡(明日香村)

乙巳の変の舞台となった場所。
飛鳥宮跡は、調査で飛鳥板蓋宮だ
けでなく、飛鳥岡本宮や飛鳥浄御
原宮など複数の宮が断続的に置か
れたことが判明し、伝飛鳥板蓋宮
跡から名称が変更されました。

継続的に発掘調査が行われ、
石敷の広場や大井戸跡が出土し
ています。



写真提供：(一社)飛鳥観光協会

所 明日香村
園 (一社)飛鳥観光協会
☎0744-54-3240